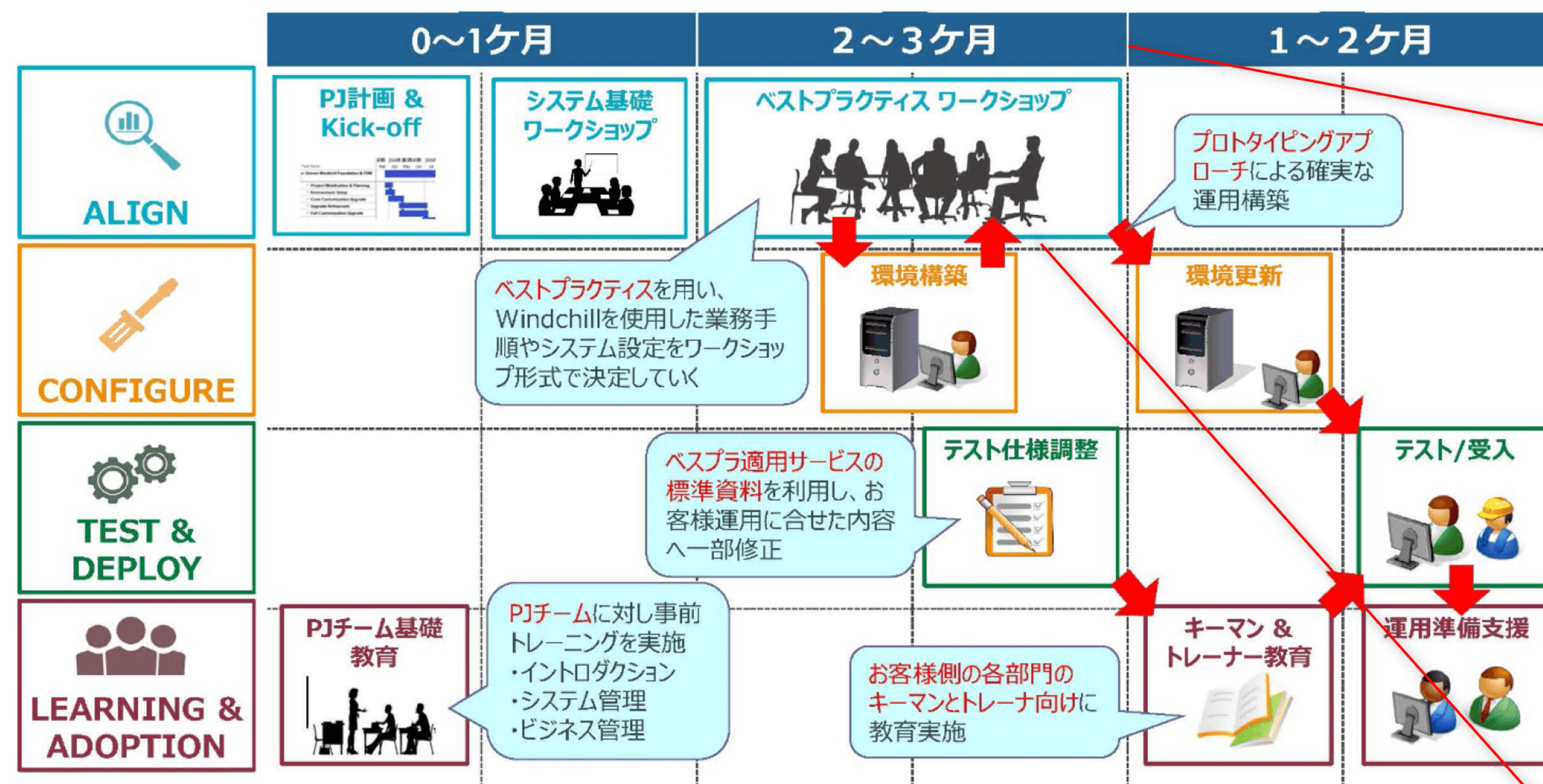


ベストプラクティス適用サービスによるスピーディなシステム導入

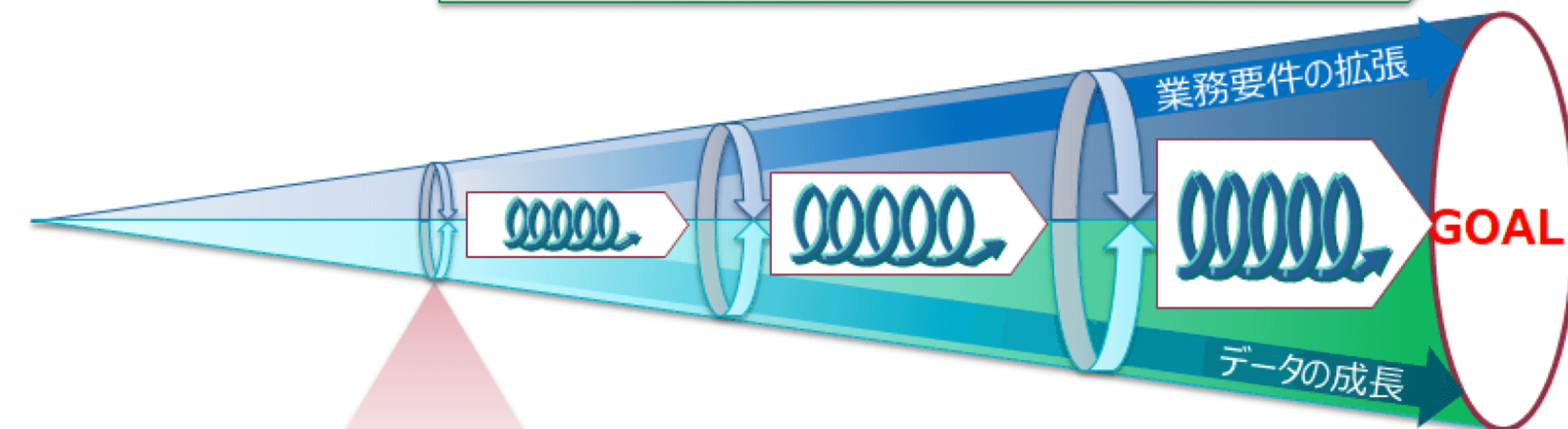
ベストプラクティス適用サービスはパッケージソフトの利点を活かしたプロトタイプアプローチの導入手法です。
事前に定義済みのベストプラクティス(プロセス、要求機能, ストーリーボード) を利用してスピーディにFit&Gap分析を実施します。
早い段階でシステムの活用イメージが掴めるため、後々の仕様変更等の後戻り対応を最少化できます。

ベストプラクティス適用サービスの進め方



プロトタイプアプローチ

順次導入



プロトタイプで業務の改革ポイントを確認しつつ、ワークショップで改革案の意見交換を行い、試行と合意形成を繰り返して実装システムを構築

プロトタイプ構築	試行	ワークショップ	修正ポイント確定
Windchillにサンプルデータを登録し、プロトタイプシステムを構築	プロトタイプ上でベストプラクティスを試行し、現実業務との差異・適合性を確認	試行メンバーでワークショップを開催し、適用案について意見交換	プロジェクトメンバーで、次期試行に適用する修正ポイントを確認し、合意